

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年1月10日(2013.1.10)

【公表番号】特表2010-517993(P2010-517993A)

【公表日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2009-547805(P2009-547805)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

A 6 1 Q 5/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/81

A 6 1 Q 5/10

A 6 1 Q 5/08

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年10月24日(2012.10.24)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 6】

したがって、本発明は、

a) ケラチン繊維(特にヒトの毛髪)の酸化着色剤であって、少なくとも1種の酸化染料前駆体、及び(i)弱酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5~95モル%と、(ii)強酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5~95モル%との重合により得られる少なくとも1種のアニオン性アクリル増粘剤を含み、前記重合により得られたポリマーが(ポリマー全体の)5~50重量%、好ましくは6~35重量%、より好ましくは8~30重量%の範囲の水溶性分率を呈し、前記アニオン性アクリル増粘剤が、ナトリウムアクリレート/ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマーであり、前記アニオン性アクリル増粘剤が、水素添加ポリデセン、ソルビタンラウレート及びトリデセス-6と混合される、剤；

b) ケラチン繊維(特にヒトの毛髪)の非酸化着色剤であって、少なくとも1種の直接染料、及び(i)弱酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5~95モル%と、(ii)強酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5~95モル%との重合により得られる少なくとも1種のアニオン性アクリル増粘剤を含み、前記重合により得られたポリマーが(ポリマー全体の)5~50重量%、好ましくは6~35重量%、より好ましくは8~30重量%の範囲の水溶性分率を呈し、前記アニオン性アクリル増粘剤が、ナトリウムアクリレート/ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマーであり、前記アニオン性アクリル増粘剤が、水素添加ポリデセン、ソルビタンラウレート及びトリデセス-6と混合される、剤；

(c) ケラチン繊維(特にヒトの毛髪)の同時明色化着色剤であって、少なくとも1種の脱色剤(例えば、過硫酸塩)、使用される酸化剤の存在下で安定である少なくとも1種の染料、及び(i)弱酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5~95モル%と、(ii)強酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5~95モル%との重合により得られる少なくとも1種のアニオン性アクリル増粘剤を含み、前記重合により得られたポリマーが(ポリマー全体の)5~50重量%、好ましくは6~35重量%、より好ましくは8~30重量%の範囲の水溶性分率を呈し、前記アニオン性アクリル増粘剤が、ナトリウムアクリレート/ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマーであり、前記アニオン性アクリル増粘剤が、水素添加ポリデセン、ソルビタンラウレート及びトリデセス-6と混合される、剤；

0重量%の範囲の水溶性分率を呈し、前記アニオン性アクリル増粘剤が、ナトリウムアクリレート／ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマーであり、前記アニオン性アクリル増粘剤が、水素添加ポリデセン、ソルビタンラウレート及びトリデセス-6と混合される、剤；

d) ケラチン繊維（特にヒトの毛髪）の脱色剤であって、少なくとも1種の脱色剤（例えば、過硫酸塩）、(i) 弱酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5～95モル%と、(ii) 強酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5～95モル%との重合により得られる少なくとも1種のアニオン性アクリル増粘剤を含み、前記重合により得られたポリマーが（ポリマー全体の）5～50重量%、好ましくは6～35重量%、より好ましくは8～30重量%の範囲の水溶性分率を呈し、前記アニオン性アクリル増粘剤が、ナトリウムアクリレート／ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマーであり、前記アニオン性アクリル増粘剤が、水素添加ポリデセン、ソルビタンラウレート及びトリデセス-6と混合される、剤；

e) ケラチン繊維（特にヒトの毛髪）の同時明色化着色剤であって、使用に先立って酸化剤（例えば、過酸化水素）と混合され、使用される酸化剤の存在下で安定である少なくとも1種の染料、(i) 弱酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5～95モル%と、(ii) 強酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5～95モル%との重合により得られる少なくとも1種のアニオン性アクリル増粘剤を含み、前記重合により得られたポリマーが（ポリマー全体の）5～50重量%、好ましくは6～35重量%、より好ましくは8～30重量%の範囲の水溶性分率を呈し、前記アニオン性アクリル増粘剤が、ナトリウムアクリレート／ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマーであり、前記アニオン性アクリル増粘剤が、水素添加ポリデセン、ソルビタンラウレート及びトリデセス-6と混合される、剤、に関する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ケラチン繊維の酸化着色剤であって、少なくとも1種の酸化染料前駆体を含み、(i) 弱酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5～95モル%と、(ii) 強酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5～95モル%との重合により得られる少なくとも1種のアニオン性アクリル増粘剤を含むことにより特徴付けられ、前記重合により得られたポリマーが、ポリマー全体の5～50重量%の範囲の水溶性分率を呈し、前記アニオン性アクリル増粘剤が、ナトリウムアクリレート／ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマーであり、前記アニオン性アクリル増粘剤が、水素添加ポリデセン、ソルビタンラウレート及びトリデセス-6と混合される、酸化着色剤。

【請求項2】

ケラチン繊維の非酸化着色剤であって、少なくとも1種の直接染料を含み、(i) 弱酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5～95モル%と、(ii) 強酸官能性を示す少なくとも1種のモノマー5～95モル%との重合により得られる少なくとも1種のアニオン性アクリル増粘剤を含むことにより特徴付けられ、前記重合により得られたポリマーが、ポリマー全体の5～50重量%の範囲の水溶性分率を呈し、前記アニオン性アクリル増粘剤が、ナトリウムアクリレート／ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマーであり、前記アニオン性アクリル増粘剤が、水素添加ポリデセン、ソルビタンラウレート及びトリデセス-6と混合される、非酸化着色剤。

【請求項3】

ケラチン繊維の同時明色化着色剤であって、少なくとも1種の脱色剤と、使用される酸化剤の存在下で安定である少なくとも1種の染料とを含み、(i) 弱酸官能性を示す少な

くとも 1 種のモノマー 5 ~ 95 モル%と、(i i) 強酸官能性を示す少なくとも 1 種のモノマー 5 ~ 95 モル%との重合により得られる少なくとも 1 種のアニオン性アクリル増粘剤を含むことにより特徴付けられ、前記重合により得られたポリマーが、ポリマー全体の 5 ~ 50 重量 % の範囲の水溶性分率を呈し、前記アニオン性アクリル増粘剤が、ナトリウムアクリレート / ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマーであり、前記アニオン性アクリル増粘剤が、水素添加ポリデセン、ソルビタンラウレート及びトリデセス - 6 と混合される、同時明色化着色剤。

【請求項 4】

ケラチン繊維の脱色剤であって、少なくとも 1 種の脱色剤を含み、(i) 弱酸官能性を示す少なくとも 1 種のモノマー 5 ~ 95 モル%と、(i i) 強酸官能性を示す少なくとも 1 種のモノマー 5 ~ 95 モル%との重合により得られる少なくとも 1 種のアニオン性アクリル増粘剤を含むことにより特徴付けられ、前記重合により得られたポリマーが、ポリマー全体の 5 ~ 50 重量 % の範囲の水溶性分率を呈し、前記アニオン性アクリル増粘剤が、ナトリウムアクリレート / ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマーであり、前記アニオン性アクリル増粘剤が、水素添加ポリデセン、ソルビタンラウレート及びトリデセス - 6 と混合される、脱色剤。

【請求項 5】

使用に先立って酸化剤と混合される、ケラチン繊維の同時明色化着色剤であって、使用される酸化剤の存在下で安定である少なくとも 1 種の染料を含み、(i) 弱酸官能性を示す少なくとも 1 種のモノマー 5 ~ 95 モル%と、(i i) 強酸官能性を示す少なくとも 1 種のモノマー 5 ~ 95 モル%との重合により得られる少なくとも 1 種のアニオン性アクリル増粘剤を含むことにより特徴付けられ、前記重合により得られたポリマーが、ポリマー全体の 5 ~ 50 重量 % の範囲の水溶性分率を呈し、前記アニオン性アクリル増粘剤が、ナトリウムアクリレート / ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマーであり、前記アニオン性アクリル増粘剤が、水素添加ポリデセン、ソルビタンラウレート及びトリデセス - 6 と混合される、同時明色化着色剤。

【請求項 6】

前記アニオン性アクリル増粘剤が、活性物質に基づいて、0.01 ~ 8.0 重量 % の分量であることにより特徴付けられる、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の剤。

【請求項 7】

前記ケラチン繊維が、ヒトの毛髪であることにより特徴付けられる、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の剤。